

機械器具 09 医療用エックス線及び医療用エックス線装置用エックス線管

一般医療機器 汎用X線診断装置用電動式患者台 40655000

特定保守管理医療機器 設置管理医療機器 人体上下スタンド (CXFP-G3W-CW)

【警告】

- ・操作者及び介添者のX線被ばくを低減すること。X線への最適な防護手段をとること。
- ・本装置使用中は、被検者と装置を観察し、異常を認めた場合はすぐに撮影、装置の使用を中断すること。
- ・トラブルが発生した時の点検・修理は、専門の業者に依頼すること。

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

(1) 標準

昇降台

ホルダーボックス

ホルダーボックス支持支柱

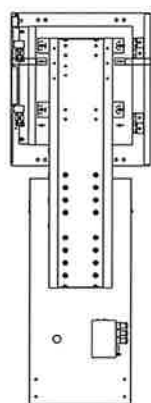
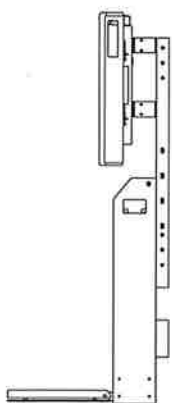
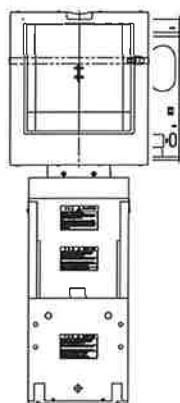
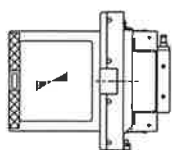
(2) オプション

リモートスイッチ

正面撮影用把手

フットスイッチ (昇降操作用)

(3) 外観



※図はトレイ右引き仕様を示す

2. 電気定格

(1) 電源定格

電源電圧 : 100V $\pm$ 10%

周波数 : 50/60Hz

消費電力 : 0.1KVA

(2) 電撃に対する保護 : クラス I B 形装着部

3. 寸法及び質量

外形寸法 : 550 (幅) max1661 (高さ) 640 (奥行)mm

質量 : 150kg

撮像部中心高さ : 1250/1300/1350/1400mm

踏み台昇降範囲 : 床から 55 $\pm$ 5~550 $\pm$ 10mm

4. 昇降速度

周波数 50Hz : 37.5 $\pm$ 5mm/sec周波数 60Hz : 45 $\pm$ 5mm/sec

5. 作動・動作原理

本装置はX線診断装置用として平面画像の診断撮影の際に、被検者の体位を調整・保持します。被検者へのX線照射の位置決めを行うために、踏み台の昇降を電動でおこなう撮影台です。

6. 搭載可能な機器 (代表例)

X線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフ

デジタルラジオグラフィ CXDI-403C Wireless

CXDI-803C Wireless

【使用目的、効能又は効果】

X線画像診断を対象とするX線撮影に際して、被検者の体位保持・調整を行う撮影台です。

【使用方法等】

1. 使用環境条件

温度 (室温) : 10 $^{\circ}$ C~35 $^{\circ}$ C

湿度 : 30%~75% (結露しないこと)

※室温 10 $^{\circ}$ C (油温 8 $^{\circ}$ C) 以下での昇降中に音が生じる場合があります。作動油温が低いと生じるものであり、故障ではありません。油温の上昇に伴い音は消えます。

2. 使用方法

(1) 使用前の作業

1) 電源を入れる

電源プラグを AC コンセントに差し込み、電源ボックスの電源スイッチを ON にする。

2) デジタルラジオグラフィの電源を入れ、ホルダーボックスに搭載する

デジタルラジオグラフィの取扱説明書を参照してください。

3) 踏み台のベルトを外し、踏み台を倒して使用できる状態にする

(2) 撮影

1) 踏み台を最下限まで下げる

2) 被検者を踏み台に立たせ、撮像部位置を調整する

スイッチを押し、撮像部の高さを調整する。

3) 組合せ X 線発生装置により撮影する

4) 踏み台を最下限まで下げてから被検者を踏み台から降ろす

(3) 使用後の作業

1) 踏み台を収納し、固定ベルトで踏み台を固定する

2) デジタルラジオグラフィの電源を切り、ホルダーボックスから取り出す

3) 装置電源を切る

3. 緊急停止

緊急時は、スイッチボックスの緊急停止スイッチを押してください。架台動作が全て停止します。

解除は、緊急停止スイッチの操作部を矢印に従い、操作部を回してください。

【使用上の注意】

- ・ 指定の機器、付属品、オプション以外は、装置に使用しないこと。
- ・ 装置を使用する際は、設置環境、使用環境を守ること。
- ・ 引火性のアルコール、ベンジン、シンナーなどは、製品付近での使用および清掃で使用しないこと。
- ・ 装置に異常や故障を発見した場合は、点検・修理を専門の業者に依頼し、修理が完了するまで装置を使用しないこと。
- ・ 装置を使用の際は、手足を挟むことがないように十分注意すること。
- ・ 踏み台を上昇する際は、被検者の頭部が天井にぶつからないよう十分注意すること。
- ・ 踏み台を昇降する際には、被検者に昇降することを伝えること。被検者が知らずにケガをするおそれがあります。
- ・ 装置に表示してある耐荷重以上の力を踏み台に加えないこと。破損しケガをするおそれがあります。
- ・ 使用後、及び車両走行中は、踏み台を収納し付属のベルトで固定すること。倒れて事故、ケガをする恐れがあります。
- ・ 踏み台を収納する時、または倒す時は、踏み台および踏み台周辺に異物がないことを確認すること。
- ・ 装置の休止中および車両走行時は、デジタルラジオグラフィをホルダーボックスに搭載しないこと。
- ・ 本装置は、使用中以外は電源を切ること。
- ・ 製品の清掃の際は、各装置電源を切り電源プラグを抜くこと。

[高齢者への適用]

- ・ 高齢者に使用する場合は、必要に応じて介添者を付けること。

[妊婦、産婦、授乳婦への適用]

- ・ 妊娠や妊娠の疑いのある被検者、および授乳中の被検者に使用する場合は、医師の指示のもとで慎重におこなうこと。

[小児への適用]

- ・ 本装置は、対象ではありません。

[その他の注意事項]

- ・ 異常音、異臭、加熱、発煙などの異常が生じた際は、直ちに装置の電源を切り、サービスマンに連絡すること。
- ・ 装置を廃棄する際は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い処理すること。

この他にも、装置を使用するにあたっての注意事項が取扱説明書に記載してあります。装置を使用する前に必ずお読みください。

【有効期限等】

有効使用期限：指定された保守点検を実施の場合 7年

ただし、使用状態により変化するため、個別に定める場合はこれを優先します。

なお、有効使用期限内においても次の部品は交換が必要です。

また、装置を構成する部品の中にはモデルチェンジの周期が早い一般市販部品があり、有効期限内であってもサービスパーツを供給できない場合があります。

【保守・点検に係る事項】

保守点検には「日常点検」と「年次点検」があります。

1. 日常点検

「日常点検」を実施してください。

詳しくは、取扱説明書の「日常点検と保守」を参照してください。

2. 年次点検

「年次点検」をおこなってください。

専門技術が必要です。専門の業者に依頼してください。

3. 清掃

清掃をおこなう際は、取扱説明書「日常点検と保守」を参照してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：北斗精機株式会社

住 所：983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町 4-6-3

電話番号：022(232)6211

製造業者：北斗精機株式会社